

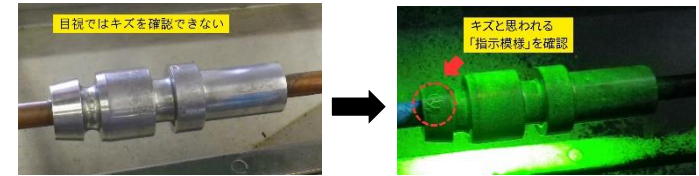
ポリテクセンター広島 在職者訓練 利用者の声

受講コース

○溶接・品質管理技術に活かす磁気探傷

在職者訓練での訓練内容

磁気探傷試験の原理と検査手順を理解し、品質管理に活かせる検査技術の習得を目指します。各種材料の磁気特性や磁化方法、直流磁化と交流磁化の違いと適用について学び、欠陥指示模様の観察を通して有害性の判断方法を理解します。実習を通じて、現場で求められる実践的な磁気探傷検査技術の向上を図ります。



写真(セミナーに関するもの。キズを拡大する)

企業での活用

1965 福山熱煉工業株式会社

(広島県福山市)

- 福山熱煉工業は、広島県福山市に本社を構え、創業以来60年にわたり金属部品の熱処理加工を中心に事業を展開しています。自動車関連部品や産業機械部品など、品質と信頼性が求められる幅広い製品分野に対応し、地域産業を支えるものづくりに取り組んでいます。
- 当社では、焼入れ・焼戻しなどの熱処理工程において、品質の安定化と信頼性確保が重要な課題となっており、加工後の品質確認が欠かせません。
- 本セミナーで習得した磁気探傷検査の知識・技能は、溶接部や熱処理後部品の工程内検査に活用され、表面欠陥の早期発見や不具合の流出防止に役立っています。
- 工程内検査を充実させることで、品質保証体制の強化と再加工の低減に繋がっており、在職者訓練で得た知見は、当社の品質向上を支える重要な要素となっています。



福山市を拠点に西日本8工場を展開し、真空熱処理・浸炭焼入れ・高周波焼入れに実績



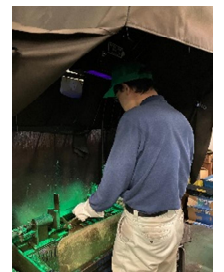
西日本最大級の焼入れ真空炉
航空機・船舶など様々な大型部品で活用

受講者の声

- 磁気探傷検査は基礎知識として理解していましたが、実習を通して磁化条件や欠陥の現れ方の違いを具体的に体感できました。
- 現場で判断に迷いやすい指示模様についても整理でき、工程内検査としての考え方が明確になりました。
- 現在は熱処理作業とあわせて品質確認を行い、自信を持って検査に取り組んでいます。



牧野 隆正氏



磁気探傷試験を業務で行う

担当者の声

- 在職者訓練を受講したことで、磁気探傷検査に対する理解が深まり、現場での検査対応力の向上が見られました。
- 今後も技能継承と品質安定のため、計画的に在職者訓練を活用していく予定です。 広島工場 鳥本工場長